

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 30 年 6 月 6 日現在

機関番号：32641

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2013～2017

課題番号：25370231

研究課題名(和文) ツール制作を主とした書籍文化史研究のための基礎的研究

研究課題名(英文) Fundamental research for research on book cultural history mainly on tool creation

研究代表者

鈴木 俊幸 (SUZUKI, Toshiyuki)

中央大学・文学部・教授

研究者番号：00216417

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,600,000円

研究成果の概要(和文)：書籍・摺物の制作に関わる下職である彫工・摺師・製本師と、関連業者である経師屋・摺物所・団扇問屋に関わる記事を、書籍そのものや諸史料から収集した。そのデータを整理し、「諸職名寄」と題したPDFファイルにまとめた。これに架蔵資料の画像を加えてCDを制作、コピーフリーとして、研究者に広く配布した。

研究情報の共有を図るために、書籍文化史研究文献の情報を収集し、分類を施して整理した。この文献目録に、研究者から寄せられた論文を加え、雑誌『書籍文化史』を第15集から第19集まで研究期間内に5冊編輯・発行し、研究機関と研究者に配布した。

研究成果の概要(英文)： First, I collected articles about the carvers, the printers, the bookmakers (the lower professionals involved in the production of books), and the printing shops, the paper fan wholesalers (traders related to these lower professionals) from books themselves and historical materials. I organized the data of these articles and compiled them into a PDF file entitled "Shoshoku-Nayose". Then, I wrote the PDF file and image files of historical materials that I collected on CDs, and distributed them to other researchers so they could use freely.

In order to share the research information among the researchers, I collected a lot of information of research papers about book cultural history. Then, I classified it and created a bibliography. I added contributed papers from other researchers to this bibliography. Finally, I compiled and published five volumes of "Books Cultural History" (from Issue 15 to 19) and distributed to research institutes and researchers.

研究分野：日本近世文学、書籍文化史

キーワード：書籍制作下職 彫工 摺師 製本師 摺物所 書籍文化史

1. 研究開始当初の背景

書籍の文化についての歴史的研究は、近年日本においても盛んに行われるようになってきていた。国文学・日本史学・日本思想史学・教育史学等々さまざまな学問領域において、書籍を史料とした研究方法の有効性が認識され、研究の質もそれぞれに向上してきていた。また、同様のアプローチを試みる海外の研究者も多数に及ぶようになり、東アジアを中心に、比較研究も盛んに行われるようになってきた。

したがって、書籍の文化に注目する方法は、諸領域を横断、融合しての大きな成果を期待できるばかりではなく、国際連携についても有効なものと考えることができた。諸領域の研究者が集まって研究活動を展開し、大きな成果を生んでいる事業もあって、その有効性、また今後の可能性は明らかであった。

以上のように、日本近世から近代初頭にいたる書籍文化の歴史的研究の基盤をより強固にし、諸領域における、また諸領域を連携する研究の活性化を図る好機であると判断された。

2. 研究の目的

(1)本研究は、日本の書籍文化の歴史を研究するための基盤を整備するために、基礎的データを集積・整備して研究上必須のツールとして公開、研究者共有のものとすることを第一の目的とした。具体的には、まず書籍・摺物の制作に関わる下職である彫工・摺師・製本師、また関連する業者である経師屋・摺物所・団扇問屋等についての諸情報を集積し、整理した名鑑を作成し公開すること、次に、書籍流通の直接的証跡である仕入印(書籍業舎が、取り扱った書籍に押捺した自店の印鑑)の印譜を研究期間内に完成し公開することであった。

(2)また、研究者間の情報疎通を促進し当該研究の深化に寄与するために、文献情報や資料紹介を柱とした雑誌『書籍文化史』を年1回のペースで発行、配布することを第二の目的とした。

3. 研究の方法

(1)研究用ツール制作

書籍・摺物制作に関わる研究用ツールとして、彫工・摺師・製本師等下職、経師屋・摺物所・団扇問屋等関連業者の名鑑を制作すべく、既存の成果である「刻師名寄」「原色浮世絵大百科事典」等からデータを抽出し、整理するとともに、これら下職についての情報を有する書籍・諸史料を別途収集し、その情報を、典拠を逐一示し、各下職の業績が一覧できるようにしながら、データに加えていった。そして、それを地域別に整理することによって、各地域における書籍文化成立要件の整備状況を概観できるようにすることを目指した。

書籍流通に関わるツールとして、仕入印

の押捺のある書籍を収集し、印影とともに押捺されている書籍のデータを集積し、典拠を明示した印譜の制作を目指した。

(2)研究情報の共有について

書籍文化史研究に関わる新出文献を網羅的に収集し、分類を施して整理した。

上記文献目録に、研究者からの寄稿原稿を加え、年1回のペースで雑誌『書籍文化史』を発行し、公的機関と研究者に配布することにした。

4. 研究成果

(1)研究用ツール制作

書籍制作に関わる下職のデータについては、明治後期までを視野に入れて、書籍そのものや諸史料から記事を広く集め、それらを地域別に整理した上で五十音順に配列し、「諸職名寄」と題してまとめた。また検索を容易にする為に索引も作成した。A4版600頁を越える分量となったため、冊子での配布より電子データでの配布のほうが利用勝手もよいと考え、PDFファイルとして出力、それに架蔵資料の画像を加えてCDを制作、広く研究者に配布した。なお、このデータはコピーフリーとした。また、このツール制作作業を通じ、職人の地域的偏在状況や時代の推移にもなう動向など、大きな知見を得ることが出来た。いくつかの職人個別に関する研究とともに、得られた資料と知見に基づく研究論文を準備することができた。

仕入印のデータについては、かなり大きなデータ量となったこともあり、研究期間内に整理を終えることができなかったが、数年内に公開することが可能な状況となっている。

(2)研究情報の共有

書籍文化史に関連する研究文献の情報を収集し、分類を施し、整理した。

収集・整理した上記文献目録に、研究者から寄せられた論文を加え、雑誌『書籍文化史』を編んだ。第15集から第19集まで、研究期間内に5冊発行し、広く研究機関と研究者に配布した。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計20件)

鈴木俊幸、石見国医師の読書生活 『松峯筆記』の「書物見聞覚帳」、書物学(勉誠出版),12号,2018,60-66p,査読無

鈴木俊幸、役人附雑考,紀要 言語・文学・文化(中央大学文学部),121号,2018,73-97p,査読無

鈴木俊幸、須原屋茂兵衛の薬商売 引札と広告葉書,書物学(勉誠出版),11号,2017,18-23p,査読無

鈴木俊幸、旧長野県における教科書・掛図の翻刻,紀要 言語・文学・文化(中央

大学文学部),119号,2017,129-189p,査読無
<http://ir.c.chuo-u.ac.jp/repository/search/item/md/-/p/10586/>
鈴木俊幸,古書漁りの余得『官版単語篇』領収書と上野尚志書状,書物学(勉誠出版),10号,2017,54-60p,査読無
鈴木俊幸,書籍の流通と売価,『文学・語学』(全国大学国語国文学会),217号,2016,112-118p,査読無
鈴木俊幸,堀江町に起つ風 団扇問屋小考,美術フォーラム21(一般社団法人美術フォーラム21),34号,2016,110-116p,査読無
鈴木俊幸,書籍の価格 岡田屋嘉七の請取と通帳,書物学(勉誠出版),9号,2016,75-81p,査読無
鈴木俊幸,普通の人々の普通の読書 貸本屋の営業文書片々,書物学(勉誠出版),8号,2016,47-52p,査読無
鈴木俊幸,読書丸の効能,文学(岩波書店),17-4,2016,159-168p,査読無
鈴木俊幸,近代教育草創期の書籍流通 信濃国伊那郡洗心(小川)学校文書より,書物学(勉誠出版),7号,2016,54-61p,査読無
鈴木俊幸,望月誠と由己社,紀要 言語・文学・文化(中央大学文学部),117号,2016,21-46p,査読無,
<http://ir.c.chuo-u.ac.jp/repository/search/item/md/rsc/p/8672/>
鈴木俊幸,書籍流通拠点の生成と水運 下総正文堂利兵衛の引札,書物学(勉誠出版),6号,2015,69-75p,査読無
鈴木俊幸,京都の絵草紙屋紙藤(綾喜)引札と紙看板,書物学(勉誠出版),5号,2015,32-37p,査読無
鈴木俊幸,信州松本の貸本商売 穀屋儀七貸本広告と貸本印,書物学(勉誠出版),4号,2015,58-63p,査読無
鈴木俊幸,明治期予約出版の足取り 鳳文館の葉書と広告,書物学(勉誠出版),3号,2014,45-51p,査読無
鈴木俊幸,『幼学便覧』考 幕末の詩作熱とその行方,国語と国文学(東京大学国語国文学会編),1088号,2014,3-17p,査読無
鈴木俊幸,草紙類の流通と広告 甲府二文字屋藤右衛門引札,書物学(勉誠出版),2号,2014,40-43p,査読無
鈴木俊幸,磐城三春の書肆とその江戸仕入れ,紀要 言語・文学・文化(中央大学文学部),113号,2014,103-148p,査読無
鈴木俊幸,葉書が語る明治の書籍流通 岡田為助宛三木佐助葉書,書物学(勉誠出版),1号,2014,61-64p,査読無

〔学会発表〕(計0件)

〔図書〕(計10件)

鈴木俊幸,『近世読者とそのゆくえ 読書と書籍流通の近世・近代』,平凡社,2017,592p

鈴木俊幸編、鈴木俊幸・松村真佐子等執筆筆,『出版文化のなかの浮世絵』,勉誠出版,2017,248p,「例言」(2p)「浮世絵の流通回路」(115-134p)「書籍業者の営業文書」(135-245p)執筆

飯倉洋一編,飯倉洋一・鈴木俊幸等執筆,『近世文学史研究 二 十八世紀の文学』,ペリカン社,2017,「書籍業界における近世中期の終わり方」(100-112p)執筆

渡辺尚志編、渡辺尚志・鈴木俊幸等執筆『生産・流通・消費の近世史』(勉誠出版、571p),2016,第三部「書物と文房具」総論、第一章「上総国における書籍流通拠点の成立 江戸時代の東金書肆多田屋」執筆(241-304p)

前田雅之・青山英正・上原麻有子編『幕末明治移行期の思想と文化』(勉誠出版、495p),2016,「書籍業界における江戸時代の終わりかた」執筆(214-242p)

鈴木俊幸編,『シリーズ 本の文化史2 書籍の宇宙 広がり体系』(平凡社、334p),2015,総論「書籍の宇宙」(7-26p)・「草双紙論」(267-304p)執筆

鈴木俊幸・山本英二編『信州松本藩崇教館と多湖文庫』(新典社、318p),2015,第四章「七千巻舎の男 多湖安元と多湖家蔵書」(104-147p)執筆

人間文化研究機構国文学研究資料館編『シーボルト日本書籍コレクション 現存書目録と研究』(勉誠出版、688p),2014,「ライデン国立民族学博物館所蔵和古書の仕入印と符牒」(400-415p)執筆

鈴木俊幸編,『近世・近代初期 書籍研究 文献目録』,勉誠出版,2014,619p

鈴木健一編『浸透する教養 江戸の出版文化という回路』(勉誠出版、456p),2013,「日用と教養 「年代記」考」(281-307p)執筆

〔その他〕

ホームページ等

鈴木俊幸編,『諸職名寄』(CD版),2018,A4版661p

鈴木俊幸編,『近世・近代初期 書籍研究 文献目録』補遺4,書籍文化史,19,2018,1-20p

鈴木俊幸編,『近世・近代初期 書籍研究 文献目録』補遺3,書籍文化史,18,2017,1-22p

鈴木俊幸編,『近世・近代初期 書籍研究 文献目録』補遺2,書籍文化史,17,2016,1-27p

鈴木俊幸編,『近世・近代初期 書籍研究 文献目録』補遺1,書籍文化史,16,2015,1-12p

鈴木俊幸編,『増補改訂 近世書籍研究 文献目録』補遺7,書籍文化

史,15,2014,1-26p

6 . 研究組織

(1)研究代表者

鈴木俊幸 (SUZUKI, Toshiyuki)

中央大学・文学部・教授

研究者番号 : 00216417